

【個票に含まれる情報】

1. 機関・団体名（愛称）
2. 所在地
3. 電話番号
4. FAX番号
5. メールアドレス
6. ホームページアドレス

7. 在籍職員の種類（いくつでも）
 - ・保健師
 - ・看護師
 - ・福祉職（社会福祉士、精神保健福祉士、児童福祉司、社会福祉主事など）
 - ・心理職（臨床心理士、公認心理士、学校心理士、カウンセリング学会認定のカウンセラーなど）
 - ・保育士
 - ・その他（具体的な職種名が記載されています）

8. 対象年代（いくつでも）
 - ・限定なし
 - ・乳幼児
 - ・小学生
 - ・中学生
 - ・高校生・中卒以上の18歳未満の子
 - ・18歳以上の人
 - ・その他（具体的な内容が記載されています）

9. 対象者層（いくつでも）
 - ・限定なし・一般の方（医療機関に受診していない方を含む）
 - ・医療機関に受診をしているが、診断が見つからない
 - ・身体障害
 - ・重症心身障害
 - ・知的障害
 - ・精神障害
 - ・その他（具体的な内容が記載されています）

1 0. 対応している困りごと（いくつでも）

- ・発達に気になる部分がある、集団行動が苦手、落ち着きがないなどについて相談したい
- ・発達障害児（者）にどう接したらいいかわからない、独特の行動が理解できない
- ・支援機関や医療機関を紹介してほしい
- ・入所で生活支援・自立支援をしてほしい
- ・通所で生活支援・自立支援をしてほしい、放課後・夏休みなどの居場所を見つけたい
- ・発達障害児（者）の生活をより良くしたい（機能訓練、体験活動など）
- ・福祉制度について知りたい・利用したい
- ・学習や就学について知りたい・支援してほしい
- ・職業訓練など就労について知りたい・支援してほしい
- ・専門的な相談機関を知りたい
- ・当事者・家族会・ママ友などネットワークを紹介して欲しい
- ・障害の有無に関わらず、子育て支援が欲しい、文化活動・スポーツ活動などの情報を知りたい
- ・保護者の休息が必要・リフレッシュしたい
- ・その他（具体的な内容が記載されています）

1 1. 業務の種類（1つだけ）

- ・相談がメイン（他機関と連携・支援計画書の作成などを含む）、具体的な支援活動はしていない
- ・相談と支援活動の両方をしている
- ・支援活動がメイン
- ・その他（具体的な内容が記載されています）

1 2. 相談窓口開設時間

平日・休日などに分けて具体的な時間帯が記載されています。

支援内容ごとに開設時間が異なる場合は、支援内容ごとに開設時間が記載されています。

1 3. 相談方法（いくつでも）

- ・電話相談
- ・面接相談（Zoomなどによるリモート相談も含む）
- ・メールによる相談
- ・SNS(ラインなど)での相談
- ・家庭訪問
- ・その他（具体的な方法が記載されています）

1 4. 具体的な支援活動内容

どんな人を対象にどんなことをしているか、詳しく記載されています。その機関・団体の特徴や Motto、利用者へのアピールポイントが記されていますので、ご参考になさってください。

* 選択肢の中で個票の中に含まれていない項目はその機関・団体では対応していないということです。